

健診センターのリニューアルオープンについて

総合医療センターでは、運営方針のひとつに「充実した予防医療の提供」を掲げ、人間ドック、職場健診のほか、各種がん検診等を実施し、予防医療の充実に努めています。

令和 5 年 1 2 月から進めていました旧 P E T - C T 装置のエリアを含む「健診センター拡張工事」が完了し、次のとおりリニューアルオープンします。

リニューアルした健診センターの特徴や新たな取組についてお知らせします。

1. リニューアルオープン日

令和 7 年 (2025) 4 月 1 日 (火)

※リニューアルオープンに伴う行事等は行いません。

2. 特徴

(1) レディースフロアの新設

旧 P E T - C T 装置のエリアに「マンモグラフィ撮影室」「乳腺エコー室」を整備するとともに「産婦人科外来」を移設し、既存の健診センターと一体化した「レディースフロア」を新設します。女性を対象とする診察・検査に特化したフロアで、待合エリアではリラックスして受診していただける環境整備を行っています。

(2) 1 日当たりの受検者枠の拡大

超音波検査室の増設や更衣室を拡張することで、1 日当たりの受検者枠数を拡大し、健康チェックの機会をより多く提供することが可能となります。

1 日当たりの受検者枠数 (人間ドック) 18 枠 ⇒ 24 枠

3. 新たな取組 「A I 内視鏡の導入」～中四国初！ 全検査室導入～

「A I 内視鏡」は、医師が内視鏡を使って胃などを検査する際、内視鏡で撮影した静止画や動画を病気の特徴を学習した A I が解析することで、高い精度で「がんの疑い」がある部分を検出するシステムです。

A I 内視鏡の導入により検査精度を向上させ、早期がんの発見促進に繋がります。

なお、健診施設で全ての受検者を対象に「A I 内視鏡」を用いるのは、中四国で初となります。

(1) 導入機器

(株) A I メディカルサービス 内視鏡画像診断支援ソフトウェア GastroAI model-G

(2) 導入日

令和 7 年 (2025) 4 月 1 日

<参考>

1. 施設面積等

健診センター	約 728 m ² (うち改修面積 341 m ²)
健診事務所棟	約 144 m ² (新設)
拡張工事費	約 277 百万円

2. 健診センター平面図

